

しんじょう市議会だより

No.137

2017.7.25



- 新議長決まる
- 市民の声を聞いて
- 特集「ようこそフレッシュマン」

5月臨時会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第2号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
	第3号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第4号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第5号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
議案	第29号	新庄市固定資産評価員の選任について	同意
	第30号	平成29年度新庄市一般会計補正予算（第1号）	可決
	第31号	平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決

6月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第6号	一般財団法人新庄市体育協会の経営状況の報告について	了承
	第7号	平成28年度新庄市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	了承
諮問	第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案	第32号	新庄市監査委員の選任について	同意
	第33号 ～ 第51号	新庄市農業委員会委員の任命について	同意
	第52号	新庄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	第53号	日新中学校大規模改修工事の内校舎改修工事請負契約の締結について	可決 チョイス1
	第54号	新庄市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について	可決
	第55号	新庄市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第56号	平成29年度新庄市一般会計補正予算（第2号）	可決 チョイス2～6
	第57号	平成29年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第58号	平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決 チョイス7
	第59号	平成29年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
【議員提出】			
議案	第1号	「看護師養成機関調査設置特別委員会の設置」について	可決

チョイス1
入札は適正だったか？

議案第53号日新中学校大規模改修工事の内校舎改修工事請負契約の締結について

議員 このたびの入札の内容は。

財政課長 新庄市では、入札予定価格を事前に知らせる方式をとっている。入札参加は5社、予定価格に対する落札率は99・42%で、落札者が一番低額で落とした。

チョイス2

地元企業に委託できないのか？

エコロジーガーデン推進事業費 測量設計業務委託料 882万円

議員 地元企業に委託できないのか。

商工観光課長 基本設計と実施設計に分け、基本的な部分は専門的な知識を有する方々、実施設計は地元という形で行いたい。

チョイス3
期待する

観光振興対策事業費
新庄フィルムコミッション負担金 307万円

議員 新庄フィルムコミッション負担金の説明を。
商工観光課長 ロケ地の候補に関する情報提供PR活動等地域振興に資する部分があり、地方創生交付金を活用しながら成果につなげていく。

チョイス4

使い勝手の良い制度へ

農業振興費・農業振興行政事業費 864万6千円

議員 農業振興費・予算組み替えの内容は。

農林課長 使いづらい制度という意見があり、今後13市の課長会議等で訴えていきたい。また関係者には随時説明していきたい。

チョイス5

確認する

子ども・子育て支援新制度事業費 施設型給付費 1,182万8千円
 議員 子ども・子育て支援新制度事業費の内容は、子育て推進課長 子ども子育て支援新制度へ移行した幼稚園などには、市から施設型給付費が支給される。本年4月に新制度に移行した幼稚園への給付費を増額補正した。

チョイス6

使い方を伺う

林業振興行政事業費
 森林・林業再生基盤づくり交付金 2億6,800万円

議員 内容は？

農林課長 中核工業団地の燃料供給施設としての事業者に1億5,050万円、1億1,750万円がそれぞれ、林野庁から県を通じて内示を受けたもの。

チョイス7

市直営でできないのか？

〔公共下水道事業特別会計〕 一般管理事業費 地方公営企業法適用支援業務委託料 2,778万9千円
 議員 どこに委託するのか？

上下水道課長 専門的な知識を必要とするため、下水道事業に精通しているコンサルタントに委託する予定。



(株)協和木材 工場内

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
『テロ等準備罪』法案（『共謀罪』法案）の撤回を求める請願	新庄市城南町9番44号 中島 隆	佐藤悦子 遠藤敏信	不採択

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。
 ○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	起新の会		市民・公明クラブ			穆清会		絆の会		会派に属さない議員				採決結果						
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋		新田道尋	佐藤悦子	叶内恵子	下山准一	星川豊	
議案第42号	新庄市農業委員会委員の任命について	●	●	棄権	-	○	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	同意
請願第2号	『テロ等準備罪』法案（『共謀罪』法案）の撤回を求める請願	●	●	●	-	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	不採択

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。（新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則）



賛成の理由
 議員 国会審議の中で「テロ対策」というのがウソであることが明らかになった。昔の治安維持法と同じだ。国民生活ががんじがらめになる監視社会になる。



反対の理由
 議員 テロの脅威からこのようにして守るのか。危ないからこの法案ができた。オリンピックなどで、国際的な犯罪を未然に阻止するため必要だ。

一般質問

一般質問は、6月12日と13日の2日間、7名の議員が行いました。
質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

6月定例会一般質問の質問者と質問事項

佐藤 義一

1. 全国学力テストの結果をいかに活用するのか
2. 産直の今後のありようを問う
3. ふるさと納税への返礼品に対する総務省通知への対応について

小嶋 富弥

1. 新庄まつりについて
2. 防災について
3. 教育行政について

小関 淳

1. 新庄まつりの受け入れ態勢について
2. 中心商店街の今後について

山科 正仁

1. 県立新庄病院移転について
2. 通学路等の危険箇所への市の対応について

3. 新庄市総合計画の施策の生きる力と夢を育む学校教育の推進と教職員等の環境について

奥山 省三

1. 空き家対策について
2. ゴミ袋の地区名、氏名の記入について
3. 市道の整備について
4. 学校の配布物について

叶内 恵子

1. 空き家対策とまちの再生
2. 次期新庄市まちづくり総合計画にむけて

佐藤 悦子

1. 医療と介護保険問題について
2. すべての子どもの発達を保障することについて
3. 公契約条例の制定について
4. 教育勅語は道徳教材としてふさわしくないということについて

学力向上対策と、産直における外国産農産物の対応を問う

◎全国学力テストの結果をどう受け止め、学力向上に向けた今後の対策を問う。

教育長 今後の対策ということですが、これまで各学校で取組んできた、子どもたちの学ぶ意欲や必要感を大切にしたい課題を今後も吟味してまいります。仲間とともに考える学びの場づくりとともに、児童生徒が学習で何を学んだのかが明確になるような学習のまとめを工夫したり、補充問題や発展問題を取り入れた授業構成を工夫するなどの視点を重視しながら授業改善を進めてまいります。また、本市の子どもたちが県や全国に比べてテレビやゲーム、携帯電話をする時間が長いという課題が見られます。生活リズムの確立や家庭学習の奨励等、家庭の協力も得られるよう啓発を図っていきたいと考えております。このような取り組みを通して次代を担う子ども



佐藤 義一 議員



登校風景

たちの学ぶ意欲を高め、問題を解決する資質や能力の育成を図ってまいります。

◎産直施設における外国産農産物加工品の販売と今後の対応を問う。

市長 産直施設での外国産農産物の加工品の販売ということですが、確かに以前は取り扱っていたということでした。現在は産直「まゆの郷」を運営する協議会が、基本的には国内産を用いた加工品を取り扱うようにしたいとのことで取扱いから除外されたとのことです。協議会の規約にも「会員自ら生産した新鮮で安全な農産物を直売することにより、農業所得の向上と地産地消をすすめることをめざす。」とされており、断られるべきものと考えております。また、民間団体の企業努力に対し、取扱品目について直接判断を下すわけにはいきませんが、注意深く見守って参りたいと存じます。



小嶋 富 弥 議員

新教育長に問う

◎高野博新教育長に質問します。長年教育現場に携わり、各小学校の校長そして教育事務所長を歴任し、その手腕を評価し期待いたします。そこで新庄市の未来を担う児童生徒の教育の抱負と今後市における教育行政力の向上の取り組み考えをお伺いします。4年後開校予定の明倫学区義務教育学校は、どんな学校を目指すのか。

教育長 未来を担う新庄市の子どもたちには、「夢を持ち、元気で才能豊かな いのち輝く子ども」になってほしいと思っております。そのため、特にのちの尊厳を根底に据えた心の教育、小中一貫教育、ふるさとを大事にする教育を充実していきたいと考えております。学校、家庭、地域が連携し、未来を担う子どもの教育に携わってまいります。教育行政については教育総務課、教育委員会には教育総務課、

学校教育課、社会教育課の3課があり、この連携を強化していくことが大事で、施設の連携も必要です。「情報」の連携から「事業」の連携について検討してまいります。また、教育委員会の機能として「指導行政」の部分があります。学校、社会教育施設、関係機関・団体が、迅速・適正に対応し事務が執行できるよう指導機能を発揮してまいります。そのためにも指導にあたる職員の専門性の向上に取り組んでまいります。明倫学区義務教育学校は、平成33年4月の開校を目指し取り組んでおります。子どもたちが意欲を持って学習するのにふさわしい学校づくりを進め、そして地域の方々の意見をしっかりと聞きながら地域と共に歩み、地域の方々に愛される学校づくりを行ってまいります。



明倫中学校校門

注目度を増す新庄まつりと商店街について

◎ユネスコ遺産登録後初めての祭りだが、受入れ体制が重要だ。駅に立つ「巨大なフェンス」は違和感がある。また、ゴミ回収箱やトイレ設置方法なども検討してはどうか。

市長 ユネスコ無形文化遺産登録後、初めての開催となる新庄まつりは国内外から注目され相当数の観覧者の増加が想定されます。ご質問のまつり当日に駅に立つ白いフェンスについては、観光客と駅を利用する方々との混雑を緩和するため、今年度も設置を予定しております。また、ごみ箱の設置につきましては従来の設置のほか、各露店にもゴミ袋等を設置するように要請することとしております。さらにトイレ設置として仮設トイレの設置とトイレ協力店への参加の拡大を予定しております。まつり期間中3日間とも賑わいが創出される状況を目指し、現在、実施主体であ



小 関 淳 議員

る新庄まつり実行委員会のまつり専門部会を随時開催し、検討を重ねております。

◎新庄まつりと商店街は切り離せないが、街の衰退は止まらない。商業に留まらない多機能エリアにしたい考えは。また、市街地再開発などについての考えはあるか。

市長 中心商店街については、これまでも商店街の街路灯LED化の支援や、各種イベントや災害時の防災放送として活用できるよう4商店街に音響設備を設置し、商店街活性化と安全・安心の面で支援を行ってまいりました。また、空き店舗出店補助金の活用により商業エリアの中に様々な店舗が出店されてきております。さらに、市民のコミュニティの場としてコワーキングスペース「ゴサロ」が開設され、最近では市民有志による空き地・空き店舗を積極的に活用し街を盛り上げようとするプロジェクトも始まっておるなど少しずつではあります。中心商店街にも様々なアプローチが始まっております。この度、市の都市計画マスタープランの見直しの中で検討を始めることを指示したところでございます。が、これからも、個性あふれる商店街及びまちづくりとなるよう支援していきたいと考えております。



新庄駅前のフェンス（まつり期間中）

市民の財産「子ども・公共施設」



給食風景

◎大きく変革している学校の中で、児童生徒が良き教育環境で学ぶためには、登下校の安全や教育現場の整備が必要と考えるがいかがが。

教育長 通学路の安全確保の対応として、各年度当初に学



山科正仁 議員

校側から危険個所の抽出を受けております。その対応を協議し、必要に応じて現地での合同点検を実施しています。すぐに対応可能な箇所については迅速な改善を図るとともに、道路拡幅整備など解決に時間を要する箇所については関係機関と協議しながら進めております。

また、現在、学校を取り巻く状況は多様化、複雑化し、学校に求められる役割は拡大しております。様々な取り組みを通して、児童生徒が安心して学べる環境整備に努めてまいります。

◎市の公共施設等の更新問題と県立新庄病院改築後の跡地および建物の利活用を連動させた検討が必要と考えるがいかがが。

市長 市では昨年度「新庄市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後の目標や方針をお示し致しました。今年度からはその方針に基づき、個別施設計画の策定に着手し、より具体的に各施設の維持管理や更新について検討していく予定であります。

県立新庄病院は現時点では移転候補地が決定した段階であり、病院移転に係る県の工程も示されておりません。しかしながら、現病院の立地場所は市の中心部であり、市のまちづくりの観点からも重要な場所であると認識しております。病院の跡地利用につきましては、個別施設計画の策定の中で県と協議を重ねながら検討してまいりたいと考えております。

増加する空き家の現状について



奥山省三 議員

◎現在の空き家の数はどの位か。その中で固定資産税の滞納者数、金額はどうなっているか。今後増加する空き家について、現状の対策で良いのか考えをお聞きする。

市長 市内の現在の空き家件数は559件、内危険空き家は171件となっております。危険空き家の内、連絡の取れない空き家が12件ございます。また、固定資産税の状況ですが、19件が未納となっております。危険空き家への対応として、助言・指導を行ったり、雪下し等の応急措置を行ったりしております。今後におきましても市民の皆様からの情報をいただきながら行政として対応してまいりたいと考えております。

◎市道についてでございながら、おきましても市民の皆様からの情報をいただきながら行政として対応してまいりたいと考えております。

市長 市道の整備・補修を実施する上で必要となる国が示した路面性状調査を実施し、平成27年度から補助事業として舗装補修工事を行っておりますが、内示額が低く思うように進んでいない状況となっております。これとは別に市独自の調査により優先順位を付け舗装補修を実施しております。優先順位は、通学路、交通弱者が多く発生する場所、除雪の強化路線等を点数化し、総合的に判断して整備するとうかたちで進めております。今後も計画的な補修及び修繕に心掛けるとともに、要望強化を図りながら市道の安全安心を確保してまいりたいと考えております。



空き家

空き家対策とまちの再生



叶内 恵子 議員

◎遊休不動産の積極的利活用を公民連携により時代に合う戦略的な都市政策を検討し、その構想を実現し地域活性化につなげていく必要があると考える。市としての考えを伺う。

市長 遊休不動産の利活用を公民連携でということですが、市民有志が「空き家プロジェクト」などの活動に取り組んでおりますので、このような市民の方々の活動を推進するため、更なる連携、情報の共有に努めてまいりたいと考えております。なお、本市の空き家対策の方向性を定めるため、現在、外部の有識識者で構成する協議会を設置し、本年度中の取りまとめに向け「新庄市空き家等対策計画」の策定の作業を進めさせていただいております。

◎地域主権時代にふさわしい次期総合政策を策定するには市民と行政がローカルガバナ

市長 まちづくり総合計画は、まちづくりの指針となる計画であります。平成33年から始まる次期総合計画の策定方法につきましては、具体的な進め方はこれから検討してまいります。市民の方からの意見を多く取り入れていかなければならないと考えております。策定にかかるとは、現在の総合計画を着実に推進することが重要であると考えております。少子高齢化、人口減少などの問題解消に向け、重点プロジェクトに掲げる、「雇用・交流拡大、安全・安心充実、子育て・人づくり」に全力を注ぎ、その達成度を見ながら次期総合計画につなげてまいりたいと考えております。



市内の街並

許されない、入院ベッド317床削減



佐藤 悦子 議員

◎2025年度の最上郡内の入院ベッド増減計画はどうなっているか。人口は減っても、65歳以上の人数は減らない。県内一の医師不足のこの地域で、命を守るためベッド数は減らされないよう要請すべきでないか。

市長 「山形県地域医療構想」において、最上区域は、県立新庄病院の改築整備に際し区域内の連携・機能分担や病床規模を含め検討することとされており。その中で、現在の許可病床数891床から人口減少等により2025年の必要病床数が574床と見込まれております。この地域における医師などの医療従事者の確保は喫緊の課題であり、今後とも地域で必要な医療を受けることができるように機会を捉えて要望してまいります。

◎障がいを持つ子が必要な支援を受けるには認定がいる。予約しても半年以上待たされる。県立新庄病院に療育センターの支所が必要でないか。

市長 県立こども療育センターは、児童の発達支援に活かすため発達検査と診断を行っている施設であります。初診は市町村が窓口となっております。初診は市町村が窓口となっております。鶴岡市にあり距離的に遠いこと、また、診断に時間がかかるなど新庄最上から通院するには不便な状況にあります。新築、移転が決定しました。県立新庄病院の中にその機能が備えられるよう、関係課、最上郡の各町村とも連携しながら必要な要望を行ってまいります。

最上地域の2025年の入院ベッド増減計画

	2015年	2025年	増減数	削減率
最上地域	891	575	-317	-36%
山形県			-2724	-22.7%
全国			-156118	-11.6%

これまでの経過

新庄市議会は平成25年12月議会において「議会基本条例」を制定しました。これは、議員の議会活動の指針となるもので、議会における最高規範と位置付けています。それを受け議会改革を進め、市民に寄り添い、市民とともに歩む議会を目指そうと、平成24年5月から「議会報告会」を開催しています。18名の議員が6名ずつ3班を構成し、各会場に赴き報告を行うというものです。また7回目からは、意見交換に重きを置くように心がけています。

開催10回目となる今回は、6月1日(木)、6月2日(金)、6月5日(月)の3日間、次の9会場で行いました。

新庄市民プラザ	参加者	10人
升形公民館		9人
萩野地区多目的研修センター		33人
わくわく新庄		18人
山屋公民館		8人
角沢公民館		24人
萩野地区公民館		6人
八向地区公民館		7人
中山公民館		17人

合わせて132名の市民の方々が参加して下さいました。

数多く寄せられた意見・要望・提案の再集約を行った結果、次の事項を市長部局に「市民の声」として答えを求めていくことに致しました。



市政に対する要望・提案

- ◎最上公園の整備計画はないのか。特に、心字池の清掃、神社裏のトイレが暗くて汚い。
- ◎人口減少の対策の一つに観光等による交流人口の拡大がある。新庄には日本の「歩きたい道500選」に入る散策道があり全国から600人が来た。が、泊まる所がない。分散してもらった。新庄まつり誘客100万人構想もある。受け入れ態勢をどう整えるか。
- ◎新庄は上下水道の使用料金が他の市と比べて高いのではないかと。何とかならないか。
- ◎仁田山橋の修復に向けて市として県に強く働きかけてほしい。
- ◎萩野学園の建設計画の際、冷房の設置を訴えたが届かなかつた。明倫校ではこの教訓を生かすべきだし、市内の学校全体で考えなければならぬ。
- ◎こどもを安心して産み・育てられる政策を望む。市内で使える商品券や赤ちゃんボックスをプレゼントしているところもある。子育てしやすい環境整備に力を入れているなら、もっとPRをすべきだ。
- ◎リフォーム補助金に市からの助成を乗せして便を図れないか。
- ◎市道横前～関屋線の薬師堂付近の道路環境整備を図ってほしい。
- ◎ゴミの不法投棄について、道路用地と民有地を区別なく撤去処理してもらいたい。
- ◎地域住民の98%が反対する鶏舎建設に関わる請願が通らなかつた。市は公害等が発生しないよう対処するべく、企業側との話し合い(協議)の場を作る調整をしてほしい。
- ◎旧萩野小学校跡地利用について、地元住民の意見・要望を汲み入れた跡地活用策を検討してもらいたい。



9ヶ所で開催

アンケートから

参加者の感想

- ◎防災無線について、害獣発見等、注意を喚起する情報を発信できるように、地域性をもっと考慮して増設してほしい。
- ◎新庄まつりの素晴らしさを伝えるために、宵祭(宿泊込み)をふるさと納税の返礼品の一つに加えたらいいか。
- ◎ふるさと納税の返礼割合は、従来の約50%から総務省の是正勧告の30%に変更するのか。
- ◎国道13号線に沿う旧泉田橋の解体撤去はどうなっているのか。安全面はもちろん景観上においても好ましくない。
- ◎一本柳と小泉間の旧道の整備がなぜ中途半端なのか。20年間手つかずの状態。計画はないのか。
- ◎不特定多数相手の報告会はなかなか難しいと思うが、市民と議会(議員)が気軽に話す雰囲気はいいと思いました。
- ◎議会だよりにあった「議会のこといろいろ聞いてみよう」ではなく、「明日の新庄・夢を語ろう」のタイトルの方がいいのではないか。
- ◎初めての参加。議会報告会10回目ですか。「継続は力なり」でしょうか。
- ◎新庄市の課題は、人口を減らさないこと。住みよいまちづくりなど、若い人を地元にとどめる工夫と、雪対策をしっかりしてもらいたい。
- ◎子育て世代、若者の参加がないのは寂しい。参加しやすい方を工夫する必要があります。

「市民の声を聞 第10回 議会報告

- ◎若者と女性の参加を促すための工夫が必要ではないのか。
- ◎地域の文化活動などへの助成制度・措置などの情報提供を図ってもらいたい。
- ◎議会での内容や、議決機関としての重要性を知ることが出来、非常に有意義であった。
- ◎防災無線のきめ細やかな整備をお願いする。
- ◎周辺地域の特にお年寄りの買い物や病院への通院が大変だ。公共交通網の整備をお願いしたい。

まとめ

多くいただいた感想の中からピックアップしたものを列記しました。

参加された方のほとんどが、議会報告会を行っていることを評価していることが解ります。以前は「もっと参加者を増やす努力を」という声がありました。区長協議会の協力などもあり、今回参加者が倍増したことは嬉しいことです。「もっと女性や若者が参加しやすいよう工夫を」というのは、新庄の未来を考えると、若い世代の参加を促すことが不可欠というステップアップしたご意見だと考えます。寄せられましたご意見、要望、提案を議会全体として更に精査し、詰めていく所存です。参加していただきました皆さんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

「議会報告会 班調整会議」





しっかり頼むぞ!



かむてん © 新庄市×富樫義博

抱負は？

小野周一議長

臨時議会において議長に選任され、責任の重さを再認識しています。もとより浅学非才の私ではありませんが、伝統ある新庄市議会の果たすべき役割を肝に銘じ、議会と執行部の調整役として「少数意見」を尊重し、「公平無私」を念頭に円滑なる議会の運営と市政進展のため、全力を尽くす決意であります。また、議会と執行部は常に緊張感をもって、議会は市民のため、議会の権能を強化していく必要があります。市民から信頼され開かれた議会を押し進めていきます。

小関淳副議長

市議会議員にならせていただいたから、瞬く間に10年あまりの歳月が過ぎました。還暦を過ぎ、先人の方々が残した「光陰矢のごとし」、「一寸の光陰軽んずべからず」などの言葉が、ようやくズシリと重く感じられるようになりました。この度、副議長の役目を仰せつかり、議会人として改めて身の引き締まる思いです。10年前の思いを忘れず、「こつこつ」と謙虚に、市民の皆さまと議会のため汗を流していきます。よろしくお願いたします。

議会運営のポイントは？

佐藤義一議会運営委員長

議会運営委員会は、平成三年の自治法改正によって新たな制度として設けられました。議会を円滑に運営するために設置されており、本会議等において執行部から提案される議案や議案の審議、また日程調整や進行などの確認を行います。議会運営委員会として、新庄市議会の円滑な運営を心がけ活動致します。

所管する事業で重要なものは？

調査・研究の工夫は？

奥山省三総務文教常任委員長

重要事業として捉えているのは、教育委員会が所管する小中一貫教育校を進める、財政課が所管する各施設の更新と考えています。調査は現場主義、研究は委員の知見向上のための事例視察を行い、市民の福祉の向上に資するよう、委員一同取り組んでいく所存です。

佐藤卓也産業厚生常任委員長

当常任委員会は、まちづくりや除雪の課題・健康福祉などを所管しており、市民ニーズに応えるため、市民皆様の声を多く聴くよう積極的に取り組んでいきます。先行事例を学ぶ



新体制スタート

為に多くの自治体を視察し、調査研究したいと考えています。

特別委員長よりお話をいただきました。

清水清秋看護師養成機関

調査設置特別委員長

このたび、重責を仰せつかりました。この看護師養成機関設置については、市長が昨年から最上広域議会等でも話し合われた経緯があります。市長から議会に対し、新庄市が率先してリーダーシップをとって進めていかなければならない旨の説明がありました。我々議会もこれらのことを全面的に受け止めながら調査、研究、検討し、最高の看護師養成機関が誕生できるよう努めていきたいと思えます。

開かれた議会を目指して

山科正仁議会改革推進委員長

この度、新体制で当委員会が構成されました。

継続という委員長職推薦を受け、

新たな気持ちで諸事案に対し真摯に向き合う決意であります。さて、当委員会にて協議・審査すべき重要な事は「議会は基より、議員の資質向上を図ることを主眼とし、市民の

方々に不信感を抱かせることの無い議会運営を推進する」であります。非常に広範に亘る課題と対峙する必要性の高い委員会ではありますが、委員一丸となって取り組む所存であります。

看護師養成機関

調査設置特別委員会メンバー

委員長 清水 清秋
副委員長 山科 正仁
委員 叶内 恵子
遠藤 敏信
高橋富美子
森 儀一
小嶋 富弥

議会改革推進委員会メンバー

委員長 山科 正仁
副委員長 今田 浩徳
委員 佐藤 悦子
奥山 省二
佐藤 卓也
新田 道尋
石川 正志

市議会選出

監査委員と最上広域議会議員

監査委員 高橋富美子
最上広域議会議員 小野 周一
議員 今田 浩徳
星川 豊
石川 正志

特集

ようこそフレッシュマン

新規採用職員で商工観光課に配属になりました八鍬光太郎と申します。新規採用職員を代表して市に寄せ
る思いや抱負を記します。

私は新庄市が大好きで、その中でも新庄まつりが何といても一番です。その理由はまち全体が1つにな
る一体感です。まつりの時期が近くなると、夜に囃子の音が聞こえ、胸の高鳴りを抑えられません。新庄まつ
りには多くの方がお見えになります。それは山車と囃子の美しさだけでなく、市民の皆さんがまつりを
楽しんでいる姿があるからこそだと私は思います。



平成29年度は私を含め、8名の職員が採用さ
れました。高校を卒業したばかりの方から社会経
験豊富な方までと年齢層も幅広く、それぞれ市へ
の熱い思いを持っていると感じています。お互い
に切磋琢磨し、助け合いながら、成長していけれ
ばと考えています。

私の目標は、仕事だけでなく何事にも全力で取
組むことです。同期一同、力を合わせ市民の皆さん
のお役に立てるよう頑張ってお参ります。よろし
くお願いします。

請願は随時受け付けております。
是非、議場に足を運んでください。



◆市議会◆ インターネット中継

ウェブサイトで検索

新庄市議会 中継

検索

9月定例会の予定

- 8月29日 (火) 請願締切
- 9月 8日 (金) 開 会
- 11日 (月) 一般質問
- 12日 (火) 一般質問
- 13日 (水) 常任委員会
- 14日 (木) 常任委員会
- 15日 (金) 決算特別委員会
- 19日 (火) 決算特別委員会
- 22日 (金) 最 終 日

議会報編集委員の紹介

委員 長	石川 正志
副委員 長	叶内 恵子
委員	佐藤 悦子
	今田 浩徳
	遠藤 敏信
	山科 正仁

あとがき

任期満了に伴う役職の改選にあたり、私たち編集委員も新しい顔ぶれとなりました。

より議員や議会の思いが伝わる記事、それから次号から「新庄の子供たち」にスポットを当てた特集記事を載せ、より楽しんでページをめくってもらえる紙面を目指して参ります。

この議会だよりが、皆様にとってより身近な存在になれば幸いです。

(記・石川)

